第２号議案

令和３年度事業報告及び収支決算について

Ⅰ　令和３年度事業報告

当協会は、本県における国際交流活動の中核的機関として、県、市町、民間団体等と連携しつつ、県民参加の下、国際交流を推進するとともに、外国人住民への支援や多文化共生社会の担い手づくりなど、多文化共生の社会づくりのため、各種の事業に取り組んでいる。

多文化共生社会の担い手育成事業では、新たに「多文化共生のまちづくり促進事業」を立ち上げた。令和 3 年度は、綾川町をモデル地域として、県及び綾川町との共催で、外国人住民と日本人住民との交流や地域住民の意識啓発を中心とする多文化共生のまちづくりに取り組んだ。その他の事業については、新型コロナウイルスの影響で中止とした講座もあるものの、状況を見つつ感染防止対策を講じたり、オンラインを活用しながら、国際理解を深める機会を提供することを目的に講座やイベントを実施した。

外国人住民への支援事業では、人権・法律に関する無料相談、通訳等ボランティア派遣のほか、「かがわ外国人相談支援センター」の運営を引き続き行い、関係機関との連携のもと、相談対応や情報提供などに取り組んだ。また、日本語講座、日本語サロンなど日本語面での支援、小・中学校への日本語指導ボランティアの派遣やこどもにほんご教室の開催などによる外国にルーツをもつ子どもたちへの支援なども、継続して実施した。災害時外国人支援事業で実施予定だった「外国人住民のための防災訓練」及び「災害時外国人支援ボランティア研修」は、新型コロナウイルスの影響で中止となったが、香川県と当協会の間で令和 2 年に締結した「香川県災害時多言語支援センターの設置・運営にかかる協定」に基づき、アイパル香川にて同センター開設訓練を実施し、災害時の外国人支援の体制づくりに努めた。

また、香川国際交流会館の指定管理者として、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、来館者等に快適な利用環境の提供や、利用者目線に立った円滑な管理運営に努めたほか、かがわ国際フェスタなど集客力の高いイベントを開催し、会館の活性化を進めた。また、ホームページや SNS を活用して、会館利用者や外国人住民等へのきめ細やかな情報発信に取り組んだ。

そのほか、当協会の活動への理解促進や活動基盤の強化を図るため、賛助会員制度の拡充に努めた。

一般管理運営

法令や定款等に基づき、評議員会・理事会を適切に開催するほか、基本財産の効率的な運用に努め、事業の円滑な推進と適切な協会運営に努めた。

[評議員会・理事会・運営委員会の開催状況]

（書面による決議の省略の場合の開催年月日は、決議があったとみなされた日を記載）

名称	開催年月日	開催場所	主要議題
第104回 理事会	R3.6.8(火)	アイパル香川 3階会議室	1.「令和2年度事業報告及び収支決算」 2.「評議員会の招集」 ※「令和2年度資金運用実績」 ※「理事長及び専務理事の職務の執行状況」
第41回 評議員会	R3.6.25(金)	アイパル香川 3階会議室	1.「議事録署名人の選出」 2.「令和2年度事業報告及び収支決算」
第105回 理事会	R3.6.29(火)	書面による 決議の省略	1.「評議員の選任」
第42回 評議員会	R3.6.30(水)	書面による 決議の省略	1.「評議員の選任」
運営委員会	R4.3.2(水)	アイパル香川 3階会議室	1.「令和3年度香川国際交流会館の利用状況」 2.「令和3年度語学研修事業」 3.「多文化共生のまちづくり促進事業」
第106回 理事会	R4.3.23(水)	アイパル香川 3階会議室	1.「令和4年度事業計画及び収支予算」 2.「令和4年度資金運用計画」 ※「理事長及び専務理事の職務の執行状況」

※は報告事項

公１　国際交流、国際協力の推進及び多文化共生社会の構築を目的とした事業

公１（1）　多文化共生社会の担い手育成事業

公１（1）－①　一般向け事業

a. かがわ国際フェスタ　（300 千円）

例年、日本人住民と外国人住民との交流・ふれあいの場の提供や県民の国際交流・国際協力・多文化共生に対する理解の増進、さらには担い手である県内の国際交流団体や関係機関相互の連携強化を目的に開催している。

令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ令和 2 年度に引続き、「かがわ国際フェスタ月間」として、10 月 10 日(日)のオープニングイベントを皮切りに1ヶ月間、県内国際交流団体の展示とインターネットでの配信を中心に開催した。

・期　間:令和 3 年 10 月 10 日(日)～11 月 9 日(火)
・場　所:アイパル香川館内
・主　催:香川県、高松市、(公財)香川県国際交流協会、(公財)高松市国際交流協会
　　(独)国際協力機構四国センター
・運　営:かがわ国際フェスタ実行委員会
・参加者: 約 7, 300 名
・出　展: 23 団体

【イベント内容】

◆オープニングイベント(10 月 10 日(日))　（交流フロアー）
・10:00～開会宣言
　・理事長挨拶、県国際交流員らによる4言語での開会宣言
・10:10～12:30 小学生英語暗唱大会
　・小学生高学年の部(表彰式)の後、小学生低学年の部(表彰式)を開催
　・ライブ中継実施(アイパル香川 3 階大会議室)
・13:30～16:00 映画上映＆トークショー
　・カンボジア紹介＆青年海外協力隊体験談(オンライン出演)
　　(発表者:足利美月氏　青年海外協力隊経験者・派遣国:カンボジア　職種:観光)
　・カンボジア映画「FUNAN フナン」上映
　・トークショー(司会:帰来雅基氏・中井今日子氏)
　　ゲストの楠川富子氏(シニア海外協力隊経験者・派遣国:カンボジア　職種:看護管理)が、オンライン出演した。

◆県内国際交流団体活動紹介展示＆PR 動画配信　（アイパルプラザ）
・国際交流団体が出展し、活動状況等をPRするパネル展示を週替わりで実施するとともに、PR 動画を YouTube チャンネルで配信した。

◆クラフト＆スイーツ教室の動画配信
・高松市英語招へい教師による、クラフト教室「感謝祭の七面鳥を作ろう！」
※高松市、セントピーターズバーグ市姉妹都市提携 60 周年記念事業の一環として実施
・元香川県国際交流員によるスイーツ教室「アメリカ＆カナダのお菓子を作ってみよう」

◆かがわではたらく・まなぶ外国人のためのアート作品展
　KAGAWA INTERNATIONAL ART COMPETITION 2021
・作品展示(10 月 30 日(土)～11 月 9 日(火))　（アイパルプラザ）
　・香川県在住の外国人が制作したアート作品の数々を展示紹介した。

b. 国際理解講座　(78 千円)

国際交流員が講師となり、それぞれの出身国について紹介することで、県民が外国の文化や習慣、社会情勢等への理解を深める機会を提供した。講義形式に限らず、体験型の活動を取り入れた様々な講座を開講した。

・対　象:高校生以上の県民
・時期及び実施回数:夏 2 回、冬 2 回
※新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用等により、冬季は中止。
・定　員:各講座 20 名

◇夏

日時・会場	講座名・内容・講師	参加費	参加者数
R3.6.26(土) 10:00-12:00 アイパル香川 中 2 階交流フロアー	第 1 回 **カナダ発のクイズゲーム「トリビアルパスート」に挑戦しながら、アメリカ・カナダについて学ぼう！**[講義・体験] 講師:秋月シンシア、オーガスト・ホールドリッチ 雑学クイズゲーム「トリビアパスート」の体験を通して、「文化・歴史」「地理・自然」「スポーツ・エンターテインメント」の4テーマのクイズに挑戦した。クイズの解説と合わせ、それぞれの国や、両国の共通点・相違点について学んだ。	800 円 (賛助会員 700 円)	18 名
R3.7.11(日) 10:00-11:30 アイパル香川 中 2 階交流フロアー	第 2 回 **アメリカ・カナダから見た“ジャパニーズフード”とは！？** [講義] 講師:秋月シンシア、オーガスト・ホールドリッチ 日本食がどのようにアメリカやカナダに伝わり広まっていったのか、また、現地でどのようにアレンジされ親しまれているか等について学んだ。	800 円 (賛助会員 700 円)	18 名

◇冬(※)

日時・会場	講座名・内容・講師	受講料	参加者数
R4.2.6(日) 10:00-11:30 アイパル香川 中 2 階交流フロアー	第 1 回 **自分らしい“美”を見つけたい！「韓国の美意識の変化」** [講義] 講師:ジョン・チェヨン	800 円 (賛助会員 700 円)	— (中止)
R4.2.26(土) 10:00-12:00 アイパル香川 中 2 階交流フロアー	第 2 回 **カナダ・ケベック州の誇るサーカス「シルク・ドゥ・ソレイユ」を知ろう！**[講義・体験] 講師:ギド・カルデリニ	800 円 (賛助会員 700 円)	— (中止)

c. 地球市民のための講座＆交流シリーズ　(79 千円)

講座やイベントを通して、幅広い世代に、楽しみながら世界のさまざまな国や文化について理解を深める機会を提供した。また、当協会事業への継続的な参加者の増加を目指すとともに、交流フロアー等を有効に活用し、会館の活性化も図った。

令和 3 年度は、5 つの講座・イベントを実施した。

・対　象:[No.1、4、5] 高校生以上
[No.2] こどもにほんご教室の参加者
[No.3] 小学生以上(※小学3年生以下は保護者同伴)
※No.3、4 については、多文化共生のまちづくり促進事業(「綾川町における技能実習生との多文化共生のまちづくり事業」)の一環として実施したことから、対象を綾川町に在住・在勤・在学の方、町内でボランティア活動等に従事している方に限定。

・定　員:[No.1、3、4] 各 20 名 [No.2] 15 名 [No.5] 各 40 名

日時・会場	講座名・内容・講師	受講料	参加者数
No.1 R3.7.16(金) 18:30～19:30 Zoom 配信	**「青年海外協力隊 OB の体験談を通して知る中東の国ヨルダン」** 青年海外協力隊の活動や、ヨルダンの文化・習慣、人々の生活などについて紹介した。異文化での驚く体験や日本との意外なつながりなどを知ることで、より多くの人が中東の国ヨルダンに関心をもち、身近に感じる機会となった。	無料	32 名
No.2 R3.7.30(金) 11:30～12:30 アイパル香川 中 2 階交流フロアー	**「みんなで楽しく交流しよう！」** アイパルこどもにほんご教室の参加者を対象に、よりお互いのことを深く知り合えるようなゲームをしたり、子どもたちが母国のことを紹介する先生になる時間を作るなど、楽しみながら交流した。	無料	15 名
No.3 R3.11.20(土) 13:30～15:30 綾川町ふれあい 運動公園 人工芝グラウンド	**「国際交流フットサルイベント in あやがわ」** 技能実習生をはじめとする外国人住民と、フットサルを通して交流した。自己紹介や、フットサルの選手によるフットサル教室、交流ゲームを通して、参加者が互いに知り合い、親睦を深める機会となった。 [協力]UDN 香川 FC ※多文化共生のまちづくり促進事業と連携して実施。	無料	33 名
No.4 R3.12.19(日) 13:30～15:30 綾川町農村環境 改善センター 2 階多目的ホール	**「ベトナム講座 in あやがわ** **～言語や文化を学ぼう&交流を楽しもう～」** 県内在住のベトナム人ゲストと交流しながら、ベトナムの文化や言語を学んだ。 ※多文化共生のまちづくり促進事業、外国語講座特別編と連携して実施。	無料	26 名
No.5 第 1 回 R4.1.20(木) ※第 2 回 R4.1.27(木) 14:00～16:00 アイパル香川 3 階第 5・6 会議室	**ワールドレクチャーシリーズ～** **地球の「今」を知り、私たちの未来を考えよう～(東南アジア編)** **第 1 回「インドネシアにおける多様性と多文化共生」**(大石　麻未) **※第 2 回「日本・ニュージーランドとの比較を通して見るタイの文化」**(ポール・バテン) 県内在住外国人の半数以上を占めている東南アジアの国にスポットをあて、それぞれの国の現状や歴史、社会、文化等について学び、地域社会の多文化共生問題について考えてもらう機会となった。 ※新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用等により、第 2 回(1 月 27 日(木))は中止。	700 円 (賛助会員 600 円)	26 名

d. 多文化共生のまちづくり促進事業　(15 千円)

県内の多文化共生の地域づくりを促進することを目的として、県・市町と連携しながら、地域住民の意識啓発を中心に、外国人住民が地域社会に受け入れられるための環境づくりに取り組んでいる。令和 3 年度については、綾川町をモデルケースとして、県、綾川町との共催で、同町における多文化共生まちづくりに取り組んだ。なお、事業実施にあたっては、(一財)自治体国際化協会の助成金(県国際課から申請)及び綾川町の負担金を主な財源とした。

・対　象:綾川町内の日本人住民、技能実習生等の外国人住民等
・時　期:令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月
・内　容:

【多文化共生のまちづくりサポーター養成講座】

・受講者数：24 名(一般受講者 16 名、香川大学綾川まちづくりプロジェクト With メンバー8 名)
・受講料：無料

日時・会場	講座名・講師
第 1 回 10 月 9 日（土）13:00～16:00 綾川町綾南農村環境改善センター	**「多文化共生と地域の未来について考えよう」** 講師：田村　太郎［一般財団法人ダイバーシティ研究所　代表理事］ ※新型コロナウイルス感染防止のため、講師と会場をオンラインでつなぐ形態で実施した。
第 2 回 10 月 16 日（土）13:00～17:00 綾川町綾南農村環境改善センター	**「多文化共生について考えよう、地域のビジョンを描こう」** ファシリテーター：伊沢　令子 ［特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター　代表］
第 3 回 10 月 23 日（土）13:00～16:00 綾川町立滝宮公民館	**「技能実習制度と地域の現状について知ろう」** 講師：佐藤　忍［香川大学経済学部　教授］ 江見　修［協同組合国際ビジネスサポート　理事長］ 発表者：田村　美津子［ヒューマンリング協同組合　職員］ アニサ　メディアナ［技能実習生］
第 4 回 10 月 30 日（土）13:00～16:00 綾川町立生涯学習センター	**「やさしい日本語を学ぼう、技能実習生と交流しよう」** ファシリテーター：公益財団法人香川県国際交流協会 ※「香川大学綾川まちづくりプロジェクト With」のメンバーについては、日程が合わなかったため、10 月 22 日（金）に別途実施。
第 5 回 11 月 6 日（土）13:00～16:00 綾川町綾南農村環境改善センター	**「交流イベントを企画しよう」** ファシリテーター：公益財団法人香川県国際交流協会 ※「香川大学綾川まちづくりプロジェクト With」のメンバーについては、日程が合わなかったため、11 月 25 日（金）に別途実施。

【主な交流イベント】

日時・会場	講座名・内容・講師	受講料	参加者数
R3.11.20(土) 13:30～15:30 綾川町ふれあい運動公園	**「国際交流フットサルイベント in あやがわ」**（再掲） 技能実習生をはじめとする外国人住民と、フットサルを通して交流した。自己紹介や、フットサルの選手によるフットサル教室、交流ゲームを通して、参加者が互いに知り合い、親睦を深める機会となった。 ［協力］UDN 香川 FC ※多文化共生のまちづくり促進事業と連携して実施。	無料	33 名
R3.12.19(日) 13:30～15:30 綾川町農村環境改善センター	**「ベトナム講座 in あやがわ** **～言語や文化を学ぼう&交流を楽しもう～」**（再掲） 県内在住のベトナム人ゲストと交流しながら、ベトナムの文化や言語を学んだ。 ※多文化共生のまちづくり促進事業、外国語講座特別編と連携して実施。	無料	26 名

※その他、日本人住民対象アンケート調査、多文化共生推進連絡会、多文化共生に関する研修、まちづくりサポーターの活動支援等を行った。

e. やさしい日本語研修　（11千円）

やさしい日本語の県内全域への普及を目指し、やさしい日本語研修を開催したり、県や市町等からの依頼に応じて、依頼機関が実施する研修の講師として職員を派遣した。

〈講師派遣〉
講師派遣料：原則として1回あたり（2時間まで）10,000円（交通費込）
内容：
・県内の外国人住民の現状に関する紹介
・やさしい日本語の特徴やつくり方のルール等に関する説明
・やさしい日本語の練習（書き換え練習、ロールプレイ等）
講師：山下　理香・山神　藍［当協会職員］

日時・会場	依頼機関	参加者数
R3.6.4(金) 10:00～12:00 香川県立保健医療大学講義室	香川県立保健医療大学	22名 （保健医療学部看護学科2年生21名、同学科教員1名）
R3.11.27(土) 10:00～12:00 椿の庄さんがわ	さぬき市国際交流をあたためる会	13名 （さぬき市国際交流をあたためる会会員）
R3.12.1(水) 10:00～12:00 東かがわ市交流プラザ	東かがわ市職員研修	29名 （東かがわ市役所職員）

〈当協会主催事業〉※多文化共生のまちづくり促進事業の一環として実施。
内容：
・県内、町内の外国人住民の現状に関する紹介
・やさしい日本語の特徴やつくり方のルール等に関する説明
・やさしい日本語の練習（書き換え練習、ポスターづくり、ロールプレイ等）
・技能実習生との交流（10月30日実施分のみ）
講師：山下　理香・山神　藍［当協会職員］

開催日時・会場	研修名	参加者数
R3.10.30(土) 13:00～16:00 綾川町立生涯学習センター1階研修室	綾川町多文化共生のまちづくりサポーター養成講座 第4回 「やさしい日本語を学ぼう、技能実習生と交流しよう」	14名 （同養成講座受講者）
R3.10.22(金) 12:30～14:15 アイパル香川3階 第3会議室	「香川大学綾川まちづくりプロジェクト With」対象やさしい日本語研修 ※上記養成講座に参加できなかった With のメンバーを対象に実施。	5名 （With メンバー）

f. ホームステイ・ホームビジット　（26千円）

【ホームステイ】

例年は、本県を訪れている外国人に、ホストファミリー宅でのホームステイを通じ、日本人との交流、日本の家庭での日常生活を体験する機会を提供するとともに、県民に外国人の受入れを通して、異文化理解を深めるための機会を提供すること、また、県内の国際交流団体や国際交流に意欲的な県民とのつながりを強化することを目的として、ホストファミリーの登録、ホームステイ受入家庭の募集と紹介を行っている。新型コロナウイルスまん延防止等重点措

置の適用等により、令和３年度のホームステイは中止とした。
・ホストファミリー登録件数:127 件 （令和２年度 125 件）
・対　象: 自治体、大学など公的な団体による研修プログラムで来県する外国人

【ホームビジット】
例年は、本県に滞在している留学生に、香川県留学生等国際交流連絡協議会が実施する「外国人学生かがわホームビジット事業」を通じ、日本人との交流、日本の家庭での日常生活を体験する機会を提供するとともに、県民に留学生の受入れを通して、異文化理解を深めるための機会を提供すること、また、県内の国際交流団体や国際交流に意欲的な県民とのつながりを強化することを目的として、ホストファミリーの登録、ホームビジット受入家庭の募集と紹介を行っている。令和３年度は、オンライン交流会として夏季と冬季の2回実施した。
・ホストファミリー登録件数:127 件 （令和２年度 125 件）
・対　象: 県内の大学や日本語学校等に在籍する外国人留学生
・定　員: 各季 20 家庭程度
・参加者数：夏季８家庭、冬季 12 家庭

公１（1）－②　若年層向け事業

a. アイパル・JICA 高校生カレッジ　（4 千円）
これからの社会を担う人材育成の一環として、県内の高校生を対象に、外国人住民をはじめとするさまざまな人との交流を通して、世界の国・地域について理解を深めるとともに、自分の国や文化、また、自分自身について改めてふりかえり、視野を広げるための機会を提供することを目的に、JICA 四国との共催で毎年講座を実施している。令和３年度は、以下の講座を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。
・講座名:「アラブの国々について知ろう
　　外国人住民や青年海外協力隊 OB・OG のみなさんと交流しよう」
・日　時:令和３年６月 19 日(土) 13:00～16:30
・会　場:アイパル香川中２階交流フロアー
・定　員:20 名
・内　容:第１部　アイスブレイク、青年海外協力隊トーク
　　第２部　プチアラビア語講座、シリア紹介英語トーク、交流タイム
・講　師:岩﨑　美和子(青年海外協力隊 OG、当協会職員(当時))
・ゲスト:ナエル・トルク(当協会通訳等ボランティア)、青年海外協力隊 OB・OG3 名

b. 国際理解教育セミナー　（14 千円）
学校現場等における国際理解教育の促進を図るため、教育関係者等を対象に、国際理解教育に対する理解を深め、実践力を高めるとともに、関係者間のつながりを強化する機会を提供することを目的として、JICA 四国との共催で実施した。
当初、対面での開催を予定していたが、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用等により、オンライン開催に変更して行った。
・日　時:令和４年２月 20 日(日)12:30～17:15
・主催等:【主催】(公財)香川県国際交流協会、(独)国際協力機構四国センター
　　【後援】香川県教育委員会、高松市教育委員会
・定　員:20 名
・参加者数:21 名
・内　容:
ｉ　ワークショップ「SDGs について知ろう、SDGs の実現につながる学びの場をつくろう」

ファシリテーター：伊沢　令子（（特非）NIED・国際理解教育センター　代表）

ii　実践報告「三高みんなの食堂プロジェクト～生徒が地域の方とともにつくる学食から目指す未来～」　発表者：泉谷　俊郎(香川県立三本松高等学校　校長)

c. アイパル訪問　（20 千円）

教育機関や行政機関等からの要請を受け、受入れを実施。施設案内や依頼機関のニーズに合わせた講座を通して、若い世代を中心に、県民の多文化共生や異文化に対する関心・理解の促進を図るとともに、当館や当協会の活動について知ってもらい、施設の利用や事業への参加を促した。令和 3 年度は教育機関からの要請を受け 202 名を受け入れた。

	日時・会場	対象	内容
1	R3.6.11（金） 13:00～15:00 中 2 階交流フロアー	附属高松小学校 1 年生～5 年生 34 名 教員 2 名 計 36 名	・多文化共生の問題とそれに対する取組（当協会の事業）紹介 ・言葉が分からない体験 ・国際交流員からの体験談等
2	R3.6.25（金） 16:00～16:30 中 2 階交流フロアー [動画撮影]	附属高松小学校 1 年生～5 年生 34 名 教員 2 名 計 36 名	・多文化共生の問題とそれに対する取組（当協会の事業）紹介 ・国際交流員の体験談等 ※後日、学校にて動画再生
3	R3.7.2（金） 13:00～13:30 中 2 階交流フロアー	附属高松小学校 1 年生～5 年生 34 名 教員 2 名 計 36 名	・児童が国際交流員のために作成した成果物の紹介 ・国際交流員からのコメント
4	R3.7.13（火） 12:00～15:00 中 2 階交流フロアー	香川大学教育学部 2 年生～4 年生 13 名 教授 1 名 計 14 名	・県内外国人住民現状紹介 ・言葉がわからない体験 ・多文化共生の問題とそれに対する取組（当協会の事業）紹介 ・国際交流員の体験談等
5	R3.7.15（木） 12:00～15:00 中 2 階交流フロアー	KTC あおぞら学園 高校 2・3 年生 3 名 教員 2 名 計 5 名	・県内外国人住民現状紹介 ・言葉がわからない体験 ・多文化共生の問題とそれに対する取組（当協会の事業）紹介 ・国際交流員の体験談等 ・高校生による紹介（作成したうどんマップ等）
6	R3.9.24（金） 14:35～15:20 3 階 5・6 会議室 [Zoom 配信]	附属高松小学校 小学 5 年生 36 名 教員 1 名 計 37 名	・県内外国人現状紹介 ・言葉がわからない体験 ・多文化共生の問題とそれに対する取組（当協会の事業）紹介
7	R3.11.2（火） 9:00～10:30 3 階 5・6 会議室	附属高松小学校 小学 5 年生 36 名 教員 2 名 計 38 名	・児童による香川県の魅力紹介（英語） ・国際交流員からの評価 ・施設紹介

d. インターン・職場体験受入　（0 千円）

教育機関からの要請を受け、受入れを実施。業務体験のほか、講座の見学や国際交流員との交流などを通して、当協会の活動、また、多文化共生の問題や異文化に対する理解を深める機会を提供した。

【インターンシップ】

	日時	対象	人数	内容
1	7 月～9 月	香川大学 （体験型インターンシップ）	3 名	・生活ガイドブックウェブサイト版データ収集作業 ・こどもにほんご教室補助、教材作成 ・外国語講座アンケート集計　等
2		香川大学 （鍛えあげインターンシップ）	3 名	

	日時	対象	人数	内容
3	10 月～3 月	香川大学 (実践型インターンシップ)	8 名	・多文化共生のまちづくり事業
4	8 月 26 日(火) ～ 9 月 6 日(土) ※内 10 日間	高松短期大学 (ビジネス実習)	3 名	・地球市民のための講座&交流シリーズ関連の講座等の準備・運営補助 ・ちらし発送作業　等

※職場体験の受入なし

公１（2）　外国人住民支援事業

公１（2）－①　生活支援事業

a. 通訳等ボランティア派遣　(36 千円)

日本語での意思疎通が困難な外国人のサポートや、外国人住民と日本人住民の相互理解等を目的として、通訳等ボランティアの募集・登録・派遣を行った。

【登録】登録申込書提出者への登録証発行(1 月に 1 回ペース)
更新希望者への登録証発行(年末)

▼登録者数

区分	令和 3 年度	令和 2 年度	平成 31 年度
	登録者数(うち外国人)	登録者数(うち外国人)	登録者数(うち外国人)
通訳(27 言語※)	249 名(123 名)	271 名(136 名)	299 名(142 名)
国際理解	109 名(58 名)	126 名 (70 名)	139 名 (84 名)
日本語指導	173 名(38 名)	189 名 (44 名)	189 名 (46 名)
日本文化等理解	63 名(15 名)	72 名 (16 名)	76 名 (16 名)
登録者実数	332 名(126 名)	359 名(139 名)	381 名(147 名)

▼登録言語

アラビア語・イタリア語・インドネシア語・ウルドゥー語・英語・オランダ語・韓国語・広東語(中国)・クメール語(カンボジア)・スペイン語・タイ語・タガログ語(フィリピン)・中国語・中国語(台湾)・チェコ語・ドイツ語・ネパール語・ハワイ語・ヒンディー語・フランス語・ブルガリア語・ベトナム語・ベンガル語(バングラデシュ)・ポーランド語・ポルトガル語・ミャンマー語・ロシア語　計 27 言語

【派遣】派遣要請書に基づきアレンジ、報告書受け取り、実績入力(随時)

▼派遣実績

	通　訳	国 際 理 解	日本語指導	日本文化等理解	合　計
派遣件数	28	8	44	0	80
延べ派遣回数	40	9	570	0	619
延べ活動時間	208	25	844	0	1077

▼派遣要請者

外国人住民、行政機関(教育委員会、国際・観光・交流関係部局等)、保健福祉・医療機関、実習生受入企業等

【その他】通訳等ボランティア用図書の貸出

b. 接見通訳派遣　(58 千円)

外国人住民が警察に逮捕された場合等に、言葉の壁が障害となり、権利を主張できなかったり、不利益を被ったりすることのないよう、香川県弁護士会の要請で、被疑者への弁護士の接見時に通訳を派遣した。

・派遣日：香川県弁護士会からの要請により随時対応
・派遣場所：県内の警察署等
・費　用：1 案件 1 人につき初回のみ当協会が通訳派遣にかかる費用を負担
・派遣件数：5 件（ベトナム語 3 件、インドネシア語・英語各 1 件）

c. 人権法律相談・行政書士相談　(29 千円)

日常生活で人権、法律上のトラブルや、在留資格等に関する疑問等を抱えた外国人住民を支援することを目的に、弁護士と法務局職員による法律相談並びに行政書士による相談を無料で実施した。

【人権法律相談】
・対　象：外国人住民または外国人住民に関わりのある県民
・日　時：原則として毎月第 3 金曜日　13:00～15:00
　　※実施日が祝日にあたる場合は第 2 金曜日
・利用料：無料（ただし 1 案件に限り 1 回の相談に限る）
・通訳手配：無料（ただし要望があった場合のみ）
・相談件数：7 件（フィリピン 4 件、アメリカ・タイ（日本）・ニュージーランド各 1 件）
・主な相談内容：離婚、交通事故、労働関係、借金返済、クレジットカードトラブル

【行政書士相談】
・対　象：外国人住民または外国人住民に関わりのある県民
・日　時：原則として毎月第 1 火曜日　11:00～13:00
　　※実施日が祝日にあたる場合は第 2 火曜日
・利用料：無料（回数の制限なし）
・通訳手配：有料
・相談件数：3 件（中国 2 件、韓国 1 件）
・主な相談内容：在留資格、離婚と親権

d. かがわ外国人相談支援センター運営（生活相談）［県からの受託事業］　(9,250 千円)

平成 31 年 4 月に施行された出入国管理法により、在留外国人が増加することが見込まれることから、外国人住民の在留手続、雇用、医療・福祉、出産・子育て、教育など生活全般に関する相談窓口として、県が平成 31 年 4 月に「かがわ外国人相談支援センター」を開設して以降、協会が運営を委託されている。

外国人住民等からの相談に多言語で対応し、助言や情報提供を行ったり、適切な相談機関を紹介したりすることで、日本語や日本の生活に不慣れな外国人住民の情報不足の解消を図り、より安心して豊かな暮らしを営むための支援を行った。

・相談日：火曜日～日曜日　9:00～16:00
・相談方法及び件数：来訪　153 件、電話　181 件、メール等　18 件　　計　352 件
　　（令和 2 年度　235 件）

【相談内容別件数】

No.	項　目	件数
1	通訳・翻訳	57
2	日本語学習	43
3	雇用・労働	28
4	入管手続	20
5	医療	14
6	教育(学校・大学・国際学校)	11
7	身分関係(結婚/離婚/DV 等)	11
8	住宅	5
9	社会保険・年金	4
10	出産・子育て	4
11	交通・運転免許	4
12	防災・災害	1
13	その他	150
	(うちコロナ関係)	(34)
	合　　計	352

※1～13 の項目は国調査に準ずる

【国籍別相談件数】

国　籍	件数	国　籍	件数
中国	49	パキスタン	2
フィリピン	45	ベルー	2
インドネシア	14	台湾	1
ネパール	12	インド	1
ベトナム	11	バングラデシュ	1
カナダ	9	北朝鮮	1
アメリカ	9	イギリス	1
スリランカ	8	スロバキア	1
韓国	6	セネガル	1
ブラジル	6	コンゴ	1
マレーシア	4		
		日本	163
		不明	4
合　　計			352

e. 留学生住宅確保支援　（2 千円）

留学生が安定した住居環境の中で安心して学究生活を営めるよう、留学生が民間アパート等を賃借する際に、協会が連帯保証を行った。

・当年(令和 3 年)度末　利用者数:4 名　(香川大学 2 名　高松大学2名)
・前年(令和 2 年)度末　利用者数:10 名(香川大学 3 名　高松大学 7 名)
・年度内新規利用者数:1 名　(香川大学 0 名　高松大学 1 名)
・年度内解約者数:7 名　(香川大学 1 名　高松大学 6 名)

f. 多言語生活ガイドブックウェブサイト構築[県からの受託事業]　(1,106 千円)

日本語での意思疎通が困難な外国人住民が、香川県での生活に速やかに適応できるよう、日常生活に必要な基本知識や情報をまとめた生活ガイドブック「くらしらいぶらりー」のウェブサイトを、やさしい日本語・英語・中国語・ベトナム語に加え、タガログ語で作成した。

g. 外国人住民災害時支援[県からの受託事業]　(155 千円)

外国人住民を災害弱者にしないため、外国人住民の防災対策に関する地域社会全体の意識を高め、それを定着させることを目的に、例年大規模災害発生初期から長期化する頃までの避難所生活を想定した実践的な訓練や講座などを実施している。令和 3 年度は、以下のとおり講座を実施する予定であったが、新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用等により中止とした。

◇災害時外国人支援研修/外国人住民のための防災訓練
・日　時:令和4年1月30日(日)
・会　場:小豆島町苗羽公民館
・主催等:【主催】香川県・小豆島町
・参加費・無料

A　災害時外国人支援ボランティア研修

災害時において多様性に配慮し、多文化共生の視点をもって外国人住民とコミュニケーションを行い、支援にあたることができるボランティアの育成を目指す。

・対象者:　災害時の外国人支援に関心のある方(行政・団体職員、教職員、外国人受入

企業社員、通訳・日本語ボランティア等）

・講　師：（特活）多文化共生マネージャー全国協議会　理事　柴垣禎

・定　員：20名程度

・内　容：

① 講義「多言語支援センターの活動事例から災害時の外国人支援について考える」
過去の災害時の例から、外国人住民が置かれる状況への理解を深め、災害時多言語支援センターが果たす役割や、災害時の外国人支援の在り方を学ぶ。

② ワークショップ
小豆島町で災害が発生し、外国人をはじめとする多様な人々が避難所に避難しようとするときに、自分がどのような状況に置かれ、どのようなことで困るかを考えるところから、言語や文化の異なる外国人住民にはさらにどのような配慮が必要かを考えるワークショップを行う。

③ 参加者間交流　（Bの訓練と合同で実施）
災害に関するゲームやクイズなどを通じ、外国人住民との交流を深める。

B　外国人住民のための防災訓練

外国人住民に、地域の災害や防災に関する知識を身につける機会を提供する。

・対象者：小豆島町に在住/勤務/通学している外国人住民

・講　師：防災関連講義等　小豆島町総務課危機管理室

・定　員：20名程度

・内　容：

① 小豆島町の災害についての講義
小豆島町ではどういった災害が起こるかを知る。また、居住地区の避難所を地図で確認する。

② 災害体験（起震車体験、初期消火訓練、救命講習、搬送訓練等）

③ 参加者間交流　（Aの訓練と合同で実施）

公１（2）－②　日本語支援事業

a. 日本語講座　（2,134 千円）

外国人住民が、安心して生活するために必要な日本語を習得できるよう、日本語を初めて学ぶ学習者を対象とする「入門 1」から、初級修了程度の日本語力を身につけることを目的とする「日本語 3」までの 5 つのレベルで開講した。

・クラス：全 5 レベル、7 クラス（全 18 回）
※8 月～9 月の火・水・金に、入門集中クラス（全 15 回）を試験的に開設。

・受講料：前期・後期クラス 4,000 円（申込時に開講期間の半分を過ぎていれば半額）
入門集中クラス 3,500 円（申込時が 8 回目以降であれば 1,800 円）

・クラス別受講者数（延べ）：

期　間		入門 1		入門 2		日本語 1		日本語 2		日本語 3		計
		木	土	木	土	木	土	木	土	木	土	
前期	4/15～11/4	—	10	—	15	11	10	—	6	—	10	62 名
後期	11/6～4/28	—	4	5	5	—	10	11	8	—	5	48 名
入門集中	8/17～9/17	4		—								4 名
合　計		4	14	5	20	11	20	11	14	—	15	114 名

※新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用等により、途中休講し、開講期間を延長。

c. 日本語サロン　（13 千円）

外国人住民の日本語学習を支援するとともに、生活相談や社会知識の習得、情報収集のための機会、地域社会における居場所を提供した。同時に、支援を行うボランティアに活動の場を提供した。

・日　時: 毎週火曜日 10:00～12:00、毎週木曜日 18:00～20:00
・会　場: アイパル香川　中 2 階交流フロアー(火)　ライブラリー(木)
・回　数: 全 51 回
・延べ参加者数: 外国人 79 名　ボランティア 234 名　合計 313 名
※新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用等により、5・8・9・1・2・3 月は中止。
※毎週火曜日は会館活性化事業として実施(延べ参加者数 252 名)

公 1 (2) －③　外国にルーツをもつ子どもの支援事業

a. 小・中学校における児童生徒への日本語学習支援　（197 千円）

外国にルーツをもつ子どもたちが進学や就職を含め、長期的に日本で暮らしていくための環境づくりをサポートすることを目的として、県及び市町教育委員会からの依頼に応じ、日本語指導及び教科学習の補助を行うボランティアを小・中学校に派遣し、日本語学習の支援を行うとともに、様々な相談に対応するなど、包括的なサポートを実施した。

・派遣期間: 令和 3 年 7 月から令和 4 年 3 月
・延べ指導回数: 105 回、132 時間
・派遣校数: 4 校 (小学校(3)、中学校(1))
・児童生徒数: 5 名 (小学 1 年生(2)、5 年生(1)、6 年生(1)、中学 1 年生(1))

b. アイパルこどもにほんご教室　（120 千円）

県内に住む外国にルーツをもつ子どもたちに対し、日常生活や教科学習に必要な日本語力と教科学習能力を身につけるための機会及び地域社会における居場所を提供することを目的として実施。個別の日本語指導や教科学習の補助、楽しみながら日本語に接し、参加者同士が交流できるような活動等を行った。

・実施回数及び時間:各季全 4 回、10:00～12:00
※春季は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。
・対　象:日本語の支援を必要とする外国にルーツをもつ原則として 9 歳から 15 歳(小学 3 年生～中学 3 年生)くらいまでの子ども
・会　場:アイパル香川　中 2 階交流フロアー
・参加費:各季 800 円
・指導スタッフ数:当協会日本語講師、日本語指導ボランティア、大学生等 19 名

	開催日	参加児童・生徒数(実数)
夏季	R3.7.29(木)、30(金)、8.3(火)、4(水)	6 か国 15 名(インド、インドネシア、カナダ、中国、ネパール、フィリピン)
春季	R4.3.25(金)、26(土)、29(火)、30(水)	― (中止)

◇保護者対象の相談会

子どもたちの日本語学習の状況、ニーズ等について情報を共有しながら、保護者が抱えている疑問や悩み等について話し合った。

	開催日	参加児童・生徒数(実数)
夏季	R3.7.30(金)	3 カ国 3 名(カナダ、中国、インド)
春季	R4.3.26(土)	― (中止)

c. 日本語教育指導者支援　(27 千円)

◇勉強会

外国にツールをもつ子どもたちに効果的な日本語指導が行われるよう、日本語指導に携わる関係者を対象に、指導に役立つ教材や指導方法等について学ぶ機会を提供した。

・日時: 令和 3 年 8 月 7 日(土)9:30～12:00
・会場: アイパル香川　中 2 階交流フロアー
・内容: テーマ(日本語指導と教科指導について)
第 1 部
(1)講座「日本語指導を教科指導につなげる方法」
講師:木下　眞知子[当協会日本語講師、教育活動支援員、地域日本語教室ボランティア]
(2)実践報告(松原　千代子[多度津小学校・日本語初期指導教室日本語指導担当教員])
第 2 部 グループでの情報交換
・参加者数: 28 名
(教育委員会担当者 3 名、小・中学校教諭 3 名、特別非常勤講師・ボランティア等 22 名)

公 1 (3)　国際協力事業

a. 海外技術研修員受入　(0 千円)

例年は、南米香川県人会及び友好提携団体等を通じて技術研修員を受入れ、研修及び県民との交流を行うことにより、研修員が本県の経済・社会・文化等について理解を深め、南米香川県人会及び香川県の友好提携団体等の活動に寄与するなど、本県との友好交流に貢献できる人材となるよう育成することを目的として実施している。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

・期　間: 約 9 カ月(南米県人会推薦の研修員)
約 6 カ月(友好提携先推薦の研修員)
・受入人数:3 名以内
・研修先:県及び県の関連団体、企業等

b. 南米次世代人材育成研修員受入[県からの受託事業]　(0 千円)

例年は、南米における香川県人会の会員から選出された者を研修員として受入れ、日本語研修や香川県民との交流を通して、我が国及び本県の経済・社会・文化等について理解を深める機会を提供し、今後の県人会活動及び出身国や県人会と本県との交流の活性化に貢献しうる人材を育成することを目的として実施している。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。

・期　間: 10 月～3 月
・受入人数: 2 名以内
・研修先: 専門学校穴吹ビジネスカレッジ日本語学科
香川県総務部知事室国際課・当協会　等

c. 南米県人会運営助成　(979 千円)

南米 4 カ国への香川県からの移住者及びその家族等から成る県人会の会員の福利厚生の充実、会の円滑な運営等に資することを目的として補助金を交付し、本県と県人会との連携を強化した。なお、ペルー県人会については、新型コロナウイルス感染状況下、県人会としての活動ができなかったため、助成申請がなかった。

助成の対象となる香川県人会:アルゼンチン、パラグアイ、ブラジル、北伯、ペルー

公１（4）　情報収集及び提供・発信事業

a. 機関誌「アイパル通信」の発行　（413 千円）

国際交流・協力、多文化共生に関する情報提供、県民の当協会事業への参画、異文化理解の促進や外国人住民への情報提供等を目的として、機関誌を発行、配付した。また、ホームページに掲載し、より広く情報を発信するよう努めた。

・発行回数：年間 3 回（4 月、9 月、1 月）
・発行部数：各号 2,000 部
・配布先：
　県内教育機関、県内公立図書館、市町及び市町国際交流協会、在外香川県人会、購読希望の県民、賛助会員

※購読希望者には有料で販売（ホームページでの閲覧は可能）

b. ホームページ及び Facebook での情報提供　（899 千円）

ホームページやSNSを通じて、イベント情報や外国人住民へのお役立ち情報等を発信した。若い世代への情報発信を強化するため、Facebook、LINE＠、YouTube、twitter 及び Instagram などの SNS を活用した。ホームページについては、県内在住外国人に合わせて機械翻訳を 18 ヶ国語対応とするなど、機能の拡充に努めた。

c. アイパルお知らせメールの発信　（0 千円）

協会主催の講座、イベント開催情報を携帯アドレス、パソコンアドレスの 2 グループに分けて発信し、きめ細やかでタイムリーな情報提供に努めた。

d. その他情報提供　（0 千円）

南米を中心とした県出身海外居住者へ香川県の今の情報を伝え、郷土との絆を維持・深化させることを目的に、自治体発行広報誌及び協会発行機関紙「アイパル通信」等を年 4 回、南米県人会に送付することとしているが、令和 3 年度も新型コロナウイルスの影響による海外郵便事情により送付できなかった。

また、外国人住民の自立と社会参画を促すことを目的に、県国際課「お役立ち情報提供制度」に協力する形で、外国人住民に県内のイベントや日本語講座等の有益な情報の提供を行った。

公１（5）　国際交流団体等の活動支援事業

a. 国際交流事業等助成　（305 千円）

県内の国際交流団体等の活動を支援するため、団体が行う事業に対し助成金を交付した。

（国際交流等　3 団体　外国人住民支援　4 団体）

補助要件：国際交流、国際協力又は多文化共生を推進することを目的とする団体が行う、本県の国際交流、国際協力若しくは多文化共生の推進に大きく寄与する事業、又は、外国籍児童生徒・その保護者等への日本語又は母語による学習、生活支援等の外国人住民支援事業のうち、先進的な事業。

補助限度額：10 万円

b. 会議室等助成　（75 千円）

会館を利用した国際交流事業等を行うとして申請のあった県内の国際交流団体等に対し、当該会館利用料を助成した。（4 団体 4 件）

公１（6）　会館管理運営事業　（42,571 千円）

a. 会館管理運営

香川国際交流会館の指定管理者として、来館者・利用者の目線に立った適切なサービスの実施に努めた。

・会議室貸出管理（利用申請書の受付け、使用料の収納）の実施
・施設、設備の「適切」な維持管理
・協会、県内外国際交流団体等の広報チラシ・ポスター掲示等による情報提供
・海外新聞（東亜日報などの海外新聞及び英字国内新聞）、海外雑誌、その他在住外国人向け海外情報誌の閲覧提供

アイパル香川利用状況

交流談話室利用者数		30,365 名
図書閲覧室利用者数		7,412 名
会議室利用	件　　数	738 件
	利用者数	15,569 名
利　用　者　数		53,346 名

会館使用料の収納状況

・件　　数：338 件　・収納金額：4,362,240 円

b. 会館活性化事業

音響・映像設備、展示スペースなどの会館設備を活かし、多文化共生に関する交流会や映画祭などを実施し、会館の利用者のさらなる増加に努めた。

【交流フロアー】		
R3.4～R4.1（毎週火）	日本語サロン	252 名
R3.6.11（金）、25（金）、7.2（金）、13（火）、15（木）	アイパル訪問受入	92 名
R3.6.26（土）	国際理解講座（第 1 回）	18 名
R3.7.11（日）	国際理解講座（第 2 回）	18 名
R3.7.29（木）、30（金）、8.3（火）、4（水）	夏季アイパルこどもにほんご教室	97 名
R3.8.7（土）	外国にルーツをもつ子どもたちへの日本語学習支援に関する勉強会	30 名
R3.10.10（日）	かがわ国際フェスタ 2021※	125 名
R4.3.27（日）	講演「国際交流を通じて香川の里海・瀬戸内海での SDGS（目標 14）の実現を目指す」※	50 名
交流フロアー利用　延べ人数		682 名

【アイパルプラザ】		
R3.10.10（日）～11.9（火）	かがわ国際フェスタ 2021※	6,600 名
R4.3.20（日）～31（木）	写真展示「東南アジア（マレーシア他）の海域と瀬戸内海（香川県海域）の海中で撮影した魅力ある海中の美」※	3,110 名
アイパルプラザ利用　延べ人数		9,710 名

※他団体との共催・協力後援事業

c. ライブラリーの管理運営

外国人住民の日本語学習などを支援するため、図書の閲覧・貸出を随時行った。また、多文化共生社会の構築に向けた事業を進めていくうえで参考となる国際理解や多文化共生に寄与する図書の充実に努めた。

d. アイパル・JICA 映画祭

さまざまな国の映画を通じて、県民に多様な世界観や文化を感じ、国際理解を深める機会を提供するため、JICA 四国と共催で例年映画祭を開催している。令和 3 年度は 3 月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止とした。

なお、かがわ国際フェスタ 2021 のオープニングイベントとして映画を上映した。(再掲)

日時	内容	参加者数
R3.10.10(日) 13:30～16:00	【カンボジアの紹介・体験談】 発表者:足利水月(青年海外協力隊経験者　職種　観光) (オンライン参加) 【映画上映】 「FUNAN　フナン」 制作国　カンボジア・フランス・ベルギー・ルクセンブルク　制作年:2018 年 【シネマトーク】 司会:帰来雅基、中井今日子 ゲスト:楠川富子氏(シニア海外協力隊経験者　職種　看護管理) (オンライン参加)	50 名

公２ 国際交流、国際協力及び多文化共生社会を担う人材の育成を目的とした語学研修事業

a. 外国語講座 (13,309 千円)

多くの県民に、外国語学習を通して外国の文化や習慣等について学び、国際理解を深める機会を提供するとともに、多文化共生社会の実現に向けて、外国語でのコミュニケーションが可能な人材の育成に貢献することを目的に、計 8 カ国語 30 講座(1 月期は 31 講座)を開講した。

講座区分(講師名)			曜日／時間帯		期間	受講者数	
英語	基礎	目で見て楽しく学ぶ 簡単英会話 (ブラスコ・ミゲル・イグナシオ)	火	18:00～20:00	4/13～7/20	14 名	96 名
					10/5～12/28	12 名	
					1/18～5/24	14 名	
		Hello, English! 基礎からの英会話 (山下 知美 ライアン・ジョーンズ)	金	10:00～12:00	4/16～8/6	20 名	
					10/8～12/24	19 名	
					1/14～5/13	17 名	
	初級	‘楽しくきちんと’ 基本の英語 (山下 知美)	水	10:00～12:00	4/14～7/21	23 名	234 名
					10/6～1/5	21 名	
					1/19～5/18	19 名	
		Exploring English! (イアン・アイアス)	水	18:00～20:00	4/14～7/21	13 名	
					10/6～1/5	12 名	
					1/19～5/18	9 名	
		Everybody English 気軽に初級英会話 (ライアン・ジョーンズ)	木	13:00～15:00	4/15～8/19	29 名	
					10/7～12/23	27 名	
					1/20～5/19	30 名	
		English Basics 英語に磨きをかける (ライアン・ジョーンズ)	土	13:00～15:00	4/17～8/7	21 名	
					10/9～12/25	14 名	
					1/15～5/14	16 名	
	初中級	Natural Communication -Fun Phrases and Expressions-	土	10:00～12:00	5/15～8/21	5 名	41 名
					10/9～12/25	6 名	
					1/15～5/14	10 名	
		Listening & Speaking 101	木	18:00～20:00	4/15～7/15	6 名	
					9/6～12/9	7 名	
					1/20～3/17	7 名	
	中級	総合英語中級 A (R.T.ウィリアムズ)	火	18:00～20:00	4/13～7/27	5 名	186 名
					10/5～12/28	5 名	
					1/18～5/24	6 名	
		Engaging English (ライアン・ジョーンズ)	水	10:00～12:00	4/14～7/21	16 名	
					10/6～1/5	16 名	
					1/19～5/18	13 名	
		English Through Popular Media (ウィリアム・ヴォーグラー)	水	18:00～20:00	4/14～7/21	8 名	
					10/6～1/5	9 名	
					1/19～5/18	7 名	
		Fun and Useful English (秋月 シンシア／ジャック・ハンキンズ／ギド・カルデリニ)	木	10:00～12:00	4/15～8/5	20 名	
					10/7～12/23	15 名	
					1/20～5/19	15 名	
		総合英語中級 B (オーガスト・ホールドリッチ／福留アンジェラ／コリーン・マキョーン)	金	10:00～12:00	4/16～8/6	17 名	
					10/8～12/24	17 名	
					1/14～5/13	17 名	

講座区分(講師名)			曜日／時間帯		期間	受講者数	
英語	上級	総合英語上級 (ポール・バテン)	金	18:00～20:00	4/16～8/6	6名	91名
					10/8～12/24	4名	
					1/14～5/13	3名	
		Insight into English (ライアン・ジョーンズ)	土	10:00～12:00	4/17～8/7	18名	
					10/9～12/25	16名	
					1/15～5/14	15名	
		ニュースで学ぼう (R.T・ウィリアムズ)	土	13:00～15:00	4/17～8/21	10名	
					10/9～12/25	9名	
					1/15～5/14	10名	
スペイン語		スペイン語入門 (中西 百合子)	金	18:00～20:00	4/16～8/6	10名	32名
					10/8～12/24	11名	
					1/14～5/13	11名	
中国語		中国語会話入門 (同 林)	水	18:00～20:00	4/14～7/21	11名	105名
					10/6～1/5	9名	
					1/19～5/18	9名	
		中国語入門 (董琴)	水	10:00～12:00	4/14～7/28	10名	
					10/6～1/5	7名	
					1/19～5/18	8名	
		中国語初級 (何 燕萍)	火	18:00～20:00	4/13～7/20	14名	
					10/5～12/28	11名	
					1/18～5/24	11名	
		中国語中級 (毛 勇)	木	18:00～20:00	4/15～8/19	7名	
					10/7～12/23	5名	
					1/20～5/19	3名	
フランス語		フランス語入門 (太田 陽子)	木	18:30～20:30	4/15～8/5	12名	117名
					10/7～12/23	6名	
					1/20～5/19	5名	
		フランス語初級 (ジェロームギラルディ)	火	18:00～20:00	4/13～8/3	18名	
					10/5～12/28	11名	
					1/18～5/24	12名	
		フランス語中級 (ジェロームギラルディ)	木	18:00～20:00	4/15～8/19	9名	
					10/7～12/23	10名	
					1/20～5/19	9名	
		フランス語上級 (ジェロームギラルディ)	火	14:00～16:00	4/13～7/27	9名	
					10/5～12/28	9名	
					1/18～5/24	7名	
ドイツ語		ドイツ語入門 (マリウス・アルベルス)	木	18:00～20:00	4/15～8/5	15名	40名
					10/7～12/23	14名	
					1/20～5/19	11名	
韓国語		入門・基礎の韓国語 (井上 真希)	土	10:00～12:00	4/17～8/7	16名	56名
					10/9～12/25	10名	
					1/15～5/14	9名	
		韓国語基礎会話 (孔 塡栄)	木	18:00～20:00	4/15～8/5	8名	
					10/7～12/23	5名	
					1/20～5/19	5名	
		韓国語中級 (鄭 彩英)	木	10:00～12:00	―	―	
					―	―	
					1/20～5/19	3名	

講 座 区 分(講師名)		曜日／時間帯		期　　間	受講者数	
イタリア語	Andiamo in Italia! (ガリアルディ・マウリツィオ)	火	18:00～20:00	4/13～7/20	9 名	27 名
				10/5～1/4	10 名	
				1/18～5/24	8 名	
ロシア語	簡単！ロシア語会話 (十川 宣治)	土	10:00～12:00	4/17～8/7	15 名	40 名
				10/9～12/25	14 名	
				1/22～5/21	11 名	
合計					1,065 名	

※新型コロナウイルスまん延防止等重点措置の適用等により、4 月期、1 月期は途中休講し、開催期間を延長しました。9 月期は開始日を延期しました。

b. 外国語講座特別編　　(2 千円)

より多くの県民が気軽に外国語を学び、異なる言語や文化への理解を深める機会を提供すると同時に、当協会の事業への継続的な参加者を獲得すること、通年の外国語講座の充実に向けてニーズを把握し、新規講座の可能性を探ることを目的として実施。令和 3 年度はオンラインでのカフェトーク、地球市民のための講座＆交流シリーズおよび多文化共生のまちづくり事業と連携し、在県外国人数が最も多い国であるベトナムに焦点を当てた講座を綾川町にて実施した。

名称・日時・講師	内容	受講料	参加者数
講座 1 **韓国語 de カフェトーク♪** ①R3.4.27(火)　10:30-11:20 ②R3.5.11(火)　18:30-19:20 ③R3.5.14(金)　18:30-19:20 ④R3.5.18(火)　18:30-19:20 ⑤R3.5.25(火)　10:30-11:20 講師:張　明訓 (第 5 回はオーガスト・ホールドリッチ、秋月シンシアがゲスト参加)	昨年度に引き続き、コロナ禍においても、安心して外国語での会話練習が行える機会を提供するため、オンラインでカフェトークを実施。1～4 回目は韓国語、5 回目は特別編として英語での会話をした。	無料	延べ 36 名 ①5 名 ②6 名 ③7 名 ④10 名 ⑤8 名
講座 2 **ベトナム講座 in あやがわ**(再掲) **～言語や文化を学ぼう＆交流を楽しもう～** R3.12.19(土)　13:30-15:30 講師:タイ・ティ・ゴック・アイン	県内在住のベトナム人ゲストと交流しながら、ベトナム語やベトナムの文化について学んだ。 ※多文化共生のまちづくり促進事業、地球市民のための講座＆交流シリーズと連携して実施	無料	26 名

事業報告の附属明細書

1. 香川県への定期提出書類の提出について

(1)第 41 回評議員会において、令和 2 年度事業報告及び収支決算の承認がなされた。それらの書類を添付し、令和 3 年 6 月 25 日付けで香川県に対して事業報告等の提出を行った。

(2)第 106 回理事会において、令和 3 年度事業計画及び収支予算の承認がなされた。それらの書類及び議事録を添付し、令和 4 年 3 月 30 日付けで香川県に対して事業計画書等の提出を行った。

2. 情報公開について

(1)第 41 回評議員会において承認がなされた令和 2 年度に係る事業報告、事業報告の附属明細書、貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳書、財務諸表に対する注記、財産目録、令和 2 年度に係る監査報告をホームページ上で公開した。

(2)第 106 回理事会にて承認がなされた令和 4 年度に係る事業計画書及び収支予算書を、ホームページで公開した。

(3)定款又は評議員及び役員に変更が生じた場合には、遅滞なくホームページ上で公開している。

3. 評議員及び役員の変更について

氏名	資格	選任／選定年月日	就任／辞任年月日	登記年月日	香川県への届出年月日
※池田　信造	評議員	—	R3.7.1 辞任	R3.7.14	R3.7.21
相川　恵祐	評議員	R3.6.30 選任	R3.7.2 就任		

※は辞任した評議員又は役員

(令 4 年 4 月 1 日現在及評議員及び役員名簿は別紙 1 のとおり)

【別紙1】

令和4年4月1日現在の評議員及び役員名簿

評議員

任期:令和6年開催定例評議員会終結時まで

役職	氏名	所属・役職
評議員会会長	筧　善行	香川大学学長
評議員	平田　喜一郎	高松商工会議所副会頭
評議員	相川　恵祐	NHK高松放送局長
評議員	小野　修一	西日本放送株式会社報道制作局長
評議員	本山　秀樹	株式会社瀬戸内海放送 報道クリエイティブユニット統括マネジャー
評議員	岩本　仟子	前香川県児童福祉審議会委員
評議員	山下　直子	香川大学教授
評議員	谷川　俊博	香川県町村会会長
評議員	西原　義一	香川県副知事
評議員	田村　真一	高松市副市長

役員

任期:令和4年開催定例評議員会終結時まで

役職	氏名	所属・役職
理事長	多田野　榮	香川経済同友会特別幹事
理事	宮武　卓朗	香川県商工会連合会専務理事
理事	木原　光治	四国新聞社西讃支社長
理事	橋本　展安	株式会社百十四銀行市場国際部副部長
理事	吉峰　幸久	株式会社香川銀行総合企画部部長代理兼総合企画部秘書室室長兼公益財団法人香川銀行青少年育成支援財団
理事	小林　秀弥	独立行政法人国際協力機構四国センター所長
理事	尾崎　英司	香川県知事公室長
専務理事	鈴木　里枝	事務局長

監事	野田　斉	元公益財団法人かがわ水と緑の財団理事長
監事	田窪　滋記	税理士